

カナミックネットワーク説明会 実際に1年間運用してみて

2015.10.5

岸和田市医師会 在宅医療連携拠点推進事業運営委員会

何のためのネットワークか

色々あるけど、最大の長所は

関係する多職種一同が常に同じ内容を共有し、話し合えること
今の所、本人・家族を入れてはいないが、いわば
サービス担当者会議的な場が、バーチャルにできること
その結果
その利用者さんのサービスを担当する
チームとしての一体感が作られる
ことにつながると言うことだと思われます

カナミックネットワークの現状

運用開始後1年あまりが経過しましたが、あまり活発に運用されているとは言えない状況です。ランニングコストは岸和田市医師会から支出されており、継続のためにも、もう少し活発な利用をお願いします。

なぜ活発な利用がなされていないのか？

考えられる理由

- 1.パソコン、スマートフォン等でID/パスワードなどを管理入力して簡単にログインできる環境が職場等に無いので面倒、あるいは新たな入力が面倒
 - 2.その面倒さを上回るような、従来の方法（電話、Fax、文書、メール）に比べたメリットが感じられない

従来の方法との連携の違い

従来の連絡

それぞれの連絡が他の職種にまでは
伝わりにくい

違う色は違う内容や言葉が多い

ネットワークでの連絡

例えば訪問看護師から発信

みんなに同じ内容が伝わる
みんなに伝わることを意識して発信

結論として言えること

利用者さんに役立つ多職種チームを意識的に作りましょう

チーム作りには努力が必要です。
カナミックネットワークをチーム作りに利用しましょう

他にもこんなことが出来ます

- 1.自施設の業務のための情報取得が一部簡略化できる
- 2.サービス担当者会議、居宅療養管理指導、退院時カンファレンスなどのある程度の部分を代替したり時間を短縮できる
- 3.医療情報・介護情報の共有

カナミックの画面（1）



自分が関連する部屋の情報一覧



自分が参加する
部屋の一覧

岸和田市医師会でのカナミックネットワークの運用

（1）まず事業所でID//パスワードを取得しておきましょう

必要なこと **個人情報の取扱に関する誓約書**を記入し**利用登録依頼書**と共に**岸和田市医師会在宅医療地域連携室（担当 吉田氏）**にFAXをするとカナミック社から封書でID/PWが届きます

（2）実際の運用時には患者さんの部屋作成が必要です

必要なこと **主治医が患者（家族）から同意書を取得し、部屋作成依頼書と共に岸和田市医師会在宅医療地域連携室（担当 吉田氏）**にFAX

カナミックの画面（2）

部屋の詳細



データフォルダ 写真や文書をup



参加者・ケアレポート データフォルダ
サービスカレンダー

おわりに

チーム作りには努力が必要です。
多職種の皆さんにはぜひ主治医に
「カナミックやりましょうよ」とラブコールを
してください

カナミックネットワーク利用の実際

～こんな方々に、こんな感じで使っています～

事例 1

- ・神経難病（気管切開・人工呼吸器・昼間独居）
- ・在宅医、訪問看護師（2か所）、リハビリ（PT、ST）
　　薬剤師、ケアマネジャー、ヘルパー、デイケア、
　　（病院主治医、保健師・・・）

リハビリ時に意識消失が数秒
安静で血圧も意識も戻りました

痙攣が頻回
訪問時に3回ありました

今日は微熱があ
りました

抗生素質を開始
しています

痙攣止めで眠気が強い印象
です

本日のリハビリはストレッチ
程度にしておいてください

○月□日から胃
瘻造設のため
××へ入院が決まりました

担当者会議の日程調整

コミュニケーショ
ンツールの統一

事例 2

- ・乳がん術後 再発なし 認知症ベースの妄想性障害
- ・独居
- ・在宅医、訪問看護師、地域包括、薬剤師、

・妄想（妄想性の誤認）、幻覚

- ・眠剤、痛み止めを過量に飲む 薬剤管理

- ・ヘルパーに対して攻撃的
限られたヘルパー、次々に事業所変更

福祉用具の搬入時間

プリンが大量にあるのに、
買って来いと言われました

薬のアドヒアラ
ンスの報告

ヘルパーの変更や時間調整

訪問時に残薬チェック
しておいてください

病院受診の報告

妄想と思われる言動が
減ってきてる印象です

権利擁護に関す
ること

	多職種に伝わる スピード	多職種との 共有のしやすさ	手軽さ	記録としての 機能
--	-----------------	------------------	-----	--------------

電話	◎	△	◎	×
----	---	---	---	---

FAX	△	△	△	◎
-----	---	---	---	---

メール	○	△	○	◎
-----	---	---	---	---

連絡ノート	△	△	△	◎
-------	---	---	---	---

カナミック	○	◎	○	◎
-------	---	---	---	---

使うためのコツ

- * 必要と感じたときに
すぐ「部屋」を作つて稼働できるよう
に
- * IDとパスワードは取つておくことをお勧めしま
す
- * 投稿は、「情報の重要度」や「優先度」を考
え

ここにメリットを感じています

- * 多職種で関わっているケース
独居、認知症、医療的ニーズが高いケース
- * 「点」で関わっている⇒「線」そして「面」で見
る
- * ケアの統一がしやすい